

一般社団法人 スマートエネルギー産業振興機構

【顧問・役員等一覧】

【顧問】

太田 健一郎 Kenichiro Ota

横浜国立大学 工学研究院 名誉教授・工学博士

グリーン水素研究センター センター長

1995/04 ～ 2002/03 横浜国立大学 工学部 教授

2001/04 ～ 2010/03 横浜国立大学大学院 工学研究院教授

2011/04 ～ 現在 横浜国立大学 名誉教授

専門分野：応用電気化学：燃料電池、水素エネルギー、工業電解、水電解

主な受賞：カナダ水素協会賞(2004)、電気化学会学会賞(2011)

主な学会・学外活動：

一般社団法人 燃料電池開発情報センター 代表、燃料電池国際標準化委員会 委員長、
産業構造審議会評価 WG 委員(経産省)、日本学術会議エネルギー供給問題分科会委員長、
元 電気化学会 会長(2008年)、元 水素エネルギー協会 会長(2000～2008年)

【会長】

関 和市 Kazuichi Seki

元東海大学総合科学技術研究所 教授・工学博士

青木村 地域自然エネルギー研究協議会 会長

1963年 東京大学宇宙航空研究所航空力学部

1976年 東海大学産業科学研究所

1997年 東海大学総合科学技術研究所

2006年 台湾明道大学新エネルギー研究センター

2011年 台湾逢甲大学大学院

研究領域：低亜音速、遷音速、超音速、極超音速空気力学、飛翔体、人力飛行機、走行体、
構造物、長大トンネルベンチレーション等の応用空気力学、エネルギー変換工学、風水車工学、
風水力発電システム。

社会活動：経済産業省 総合資源エネルギー調査会 新エネルギー部会 委員、新エネルギー・産
業技術総合開発機構 風力発電技術委員、新エネルギー財団 新エネルギー産業会議評議員・風力
委員、国土交通省港湾・沿岸域における風力発電技術委員会委員、文部科学省革新技术評価委員
会委員、日本電機工業会(JEMA)風力発電標準化総合委員、日本工学教育協会編集出版委員、リ
ニューアブルエネルギー有効利用・普及促進機構理事長、日本大学理工学部非常勤講師、GWEC
アンバサダー、一般社団法人日本風力エネルギー学会会長等を歴任。

【副会長】 ※名前五十音順

勝呂 幸男 Yukio Suguro

横浜国立大学 産学連携研究員、NEDO 風力発電高度実用化研究開発プロジェクトリーダー

1995年 三菱重工にて風車プロジェクト室長に就任、2002年からは主幹技師として従事。

2010年 一般社団法人日本風力エネルギー学会会長を務める。

社会活動：新エネルギー・産業総合開発機構(NEDO)風力発電装置関連諸委員会委員、

日本エネルギー財団(NEF)風力委員会委員、日本電気工業会 (JEMA) 風力発電設備技術関連調査研究委員会委員、経済産業省 原子力安全・保安院 電力安全課 風力発電技術基準検討委員会委員及び委員長、地方自治体及び風力発電会社風車事故調査委員会委員長、一般社団法人日本風力エネルギー学会会長等を歴任。

高見 弘 Hiroshi Takami

芝浦工業大学 工学部 電気工学科 教授・工学博士

2005年 芝浦工業大学工学部 電気工学科 助教授 (2007年職名変更により准教授)

電動機制御、リニアモータのモーションコントロールなどパワーエレクトロニクス関連の制御技術の開発に従事。

2008年 芝浦工業大学工学部 教授

現在、スターリングエンジンによる再生可能エネルギー発電制御などの研究に取り組む。

桃井 和馬 Kazuma Momoi

写真家、ノンフィクション作家、桜美林大学 客員教授

一般社団法人 多摩循環型エネルギー協会 代表理事

世界 140 ヶ国を取材し、「紛争」「地球環境」などを基軸に、独自の切り口で「文明論」を展開。

第 32 回太陽賞受賞。公益社団法人「日本写真家協会」会員。主要著書に「もう、死なせない! (フレーベル館)」、「すべての生命 (いのち) にであえてよかった(日本キリスト教団出版局)」、「妻と最期の十日間(集英社)」、「希望の大地(岩波書店)」、共著に「3・11 メルトダウン(凱風社)」、「東日本大震災一写真家 17 人の視点(朝日新聞出版)」、「生きる(日本写真家協会編・新潮社)」など。

【評議員】 *アドバイザー

鳥海 豊彦 Toyohiko Toriumi

野村証券グループ・野村ツアーリスト入社後、海外金融、IT 事情調査、視察、研修を手掛ける。その後独立して以下の会社を設立。

- ・株式会社コラボレート研究所 (2001年8月設立) 代表取締役会長、海外の主にエネルギー、金融、IT 分野の事情調査、視察、研修を行う。また、若者を対象に、米航空宇宙局 (NASA) にて火星ミッションに焦点を当てた研修を通じ、宇宙、科学、資源などを学ぶ機会を提供する。
- ・株式会社グリッド&ファイナンス・アドバイザーズ (2011年12月設立) 代表取締役社長、企業にとっては持続性 (サステナビリティ) に対するビジョンが重要だが、どのような取り組みをするべきか。社会貢献と同時に企業価値を向上させる企業活動を、金融市場や機関投資家はどうか。評価するのか。答えの一つ、グローバル ESG の投資動向を尺度とするアドバイザリーを行う。

- ・株式会社 快適システム研究所（2015年7月設立）代表取締役社長、ITの進展に伴いライフ・ワークスタイルは劇的に変化。ユーザーの潜在ニーズを能動的に掘り起こし、快適なライフ・ワークスタイルのツールを提供。

中村 繁夫 Shigeo Nakamura

アドバンスト マテリアル ジャパン株式会社 代表取締役社長

京都府出身。静岡大学農学部卒。大学院時代に休学し世界放浪の旅へ。ヨーロッパ、ブラジル、アメリカ等30ヶ国以上を放浪した後、静岡大学大学院に復学し、修士課程を修了。

旅の中で商社の仕事としてのレアメタル商材に興味を覚え、繊維と化学品の専門商社である蝶理に入社。レアメタル部門で30年間輸入買付を担当。蝶理からレアメタル事業を独立事業として引き継ぎ、2003年に蝶理アドバンスト マテリアルジャパンの社長に就任。2004年にMBOを実施し独立。アドバンスト マテリアル ジャパンの代表取締役社長に就任。

中国、ロシア、モンゴル、ミャンマーなど世界中の資源開発案件に携わり、訪問国は100ヶ国以上に達する。2012年に日本チタン協会より長年の業界の発展に対する「特別賞」を受賞した。著作物として『レアメタル・パニック（光文社）』、『レアメタル資源争奪戦（日刊工業新聞社）』、『2次会は出るな（フォレスト出版）』、『放浪ニートが340億円社長になった（ダイヤモンド社）』、『山師の兵法A to Z（ウェッジ）』などがある。

【執行 代表理事】 *事業統括

伊達 陸宏 Takahiro Date

株式会社スマート・エコロジー企画 代表取締役

青木村 地域自然エネルギー研究協議会 委員

株式会社 矢野経済研究所に入社後、レアメタル・新金属、リチウムイオン電池、燃料電池、太陽電池、風力発電、バイオマス発電等の市場調査・コンサル及び需要開拓業務に携わる。

2010年11月に株式会社 スマート・エコロジー企画を設立。

2015年5月に任意団体スマートエネルギー産業振興会の一般社団法人化を行い現在に至る。

【執行 理事】

杉山 久二 Hisaji Sugiyama

(株)マテリアル・トレーディング・カンパニー(顧問)、日本特殊材料(株)相談役、(株)相和(顧問)

1973年 金商又一株式会社（現：三菱商事 RtM ジャパン）入社後、製鋼副原料及び機能材料としての鉍産物、各種レアメタル、稀土類の開発輸入業務に従事。主に中国・ロシア・中央アジアよりの資源開発輸入を推進。2000年中非物産株式会社取締役営業部長、2007年株式会社 UMC 常務取締役を経て、2012年12月より現職。

廣瀬 史朗 Shiro Hirose

ひろせ事務所 代表 BMC 広告マスター(旧産業広告管理士)、京都府知恵の経営ナビゲーター
1987 年産経新聞社入社後、日刊工業新聞社、矢野経済研究所などを経てひろせ事務所を設立、フリーランスのライター・リサーチャーとして幅広い分野・産業界をカバー。また、経済産業省が推進している「知的資産経営報告書」に着目し、知的資産経営報告書作成の支援も行う。

2011 年～2013 年 栃木県企業立地協力員

2014 年～2015 年 豊中市市有施設有効活用委員会委員

2014 年～ 現在 大阪府統計調査員

2016 年～ 現在 豊中市総合計画審議会委員

【准理事】 ※名前五十音順

岡本 剛 Tsuyoshi Okamoto

現地法人トランスターロジスティックス（カザフスタン共和国）オーナー。

1985 年 米ダラス市にて飲食店開業。

1991 年 ロシアボルゴグラード教育大に語学留学。

1992 年 ITS Japan にてカザフスタン共和国事務所長兼中央アジア担当として CIS の物流に従事、CLB（チャイナランドブリッジ）中国～欧州多国間輸送を開発。イランのバンダルアバスから中央アジアに至るサラクス経由のコンテナ輸送を開発。

2001 年 現法トランスターロジスティックスを設立、戦時中のアフガニスタンで人道援助物資の補給路を開発、油田、金・銅鉱山開発に従事。

2009 年 中央アジアより帰国。

2011 年 東北大震災支援ボランティア団体を設立。

2012 年 SSA アフリカ教育支援を目的に熱電素子使用発電鍋を活用した BOP ビジネスを開始。

2016 年 熊本地震の支援活動を開始。

岡本 弘 Hiroshi Okamoto

新光投信株式会社において執行役員、理事職、参与職等を 2016 年 6 月まで歴任。

日本証券アナリスト協会検定会員。

1978 年 4 月、新日本証券株式会社入社、1982 年より企業調査部にて機械、環境、造船セクターのアナリスト、課長を経て 1998 年総括部長。中小型株に強みを持ち、特に青色 LED 普及過程で関連企業調査、新規公開などに関与した。

2000 年 4 月、新日本証券と和光証券の合併により新光証券株式会社が発足する。

2002 年より企業投資調査部長として中小型でトップアナリストを排出する調査部を運営管理。

2006 年 4 月に新光投信へ出向し企業調査部長として、2006 年に設定された「地球温暖化防止関連株ファンド（愛称：地球力）」のプロモートなどを行った。

2007 年 4 月、新光投信株式会社転籍により執行役員企業調査部長に就任。2009 年の「トヨタ F S ハイブリッドカーファンド」や「レアメタル関連株ファンド」など新ファンドの企画とプロモートを行うとともに理事、参与職を歴任。2016 年 6 月に退職し、現在に至る。

高橋 亮 Ryo Takahashi

農食テクノインフォ 代表。山形大学農学部農芸化学科（土壌肥料）卒業。

1980年 ベントナイトの研究開発等。1982年 海外技術文献の企画調査。1983年 貝割れ大根の栽培および水耕栽培・植物工場の研究。1985年 農業技術コンサルタント。1986年 株式会社化学工業日報社（取材編集、月刊誌「今月の農業」等の出版編集、新規事業開発等）。2013年 一般社団法人日本植物防疫協会（月刊誌「植物防疫」等の出版編集）。2017年 定年退職後、農食テクノインフォを母体に、農業技術情報誌の編集制作、農業分野の取材編集等を行い現在に至る。

中井 努 Tsutomu Nakai

放送大学教養学部卒業。理化学関連企業に入社後、遺伝子、タンパク関連、マグロのカマよりDHA、EPAの製造ラインの構築、実験動物用飼育環境整備、製薬企業向け有機合成、ワクチン製造ラインGMP、GCPの品質管理、食品会社向けの品質管理等の業務に従事し現在に至る。

藤田 昌俊 Masatoshi Fujita

藤田 ISO コンサルティング 代表。早稲田大学理工学部電子通信学科修士課程修了。

1979年 富士通株式会社入社後、富士ファコム制御株式会社にてSEとして従事。主に鉄鋼、非鉄金属、化学ガラス大手メーカーのプロセスオートメーション分野のシステムを担当。

1996年以降、ISO 認証取得業務に専念。

2005年 株式会社クレオに入社、QMS 管理責任者として約5年間従事。

2011年11月にISO コンサル事業を立ち上げとともにQMS、ISMS 審査員としての活動を行う。

前田 暉 Akira Maeda

株式会社スマート・エコロジー企画 主席研究員・工学博士

大阪大学 基礎工学部 電気工学科 修士課程修了。1996年に東京大学で学位取得。

三菱電機株式会社入社後、情報技術総合研究所画像処理グループマネージャー、システム技術開発部長、マルチメディア情報システム開発センター長、官公CCV事業推進センター参与を歴任。

現在、株式会社スマート・エコロジー企画 主席研究員として通信と新エネルギーの融合を目指したスマートエネルギー分野の研究・分析、技術報告書作成、関連ビジネスの構築に従事。

以上、SEIDA 事務局作成